

中学生の「税」についての作文

税務課では、納税意識の高揚を目的に、次代を担う中学生を対象に「税についての作文」を募集しました。この中から最優秀賞である小松島市長賞を受賞された小松島中学校2年の北野日菜さんの作文を紹介します。

『税金について』

小松島中学校2年

北野 日菜



かった私は、こんなことをする必要があるので疑問に思いました。

私は、これまで税金について深く考えたことがありませんでした。私たちのいちばん身近である消費税が昨年の四月より五パーセントから八パーセントに上がりました。百円ショップの品物は、今までは百五円でしたが今では百八円に値上がりしています。税金のことをあまりよく知らない

「教科書代」「机やイスなどの

平成27年度の「税についての作文」優秀作品の表彰を受けた方は次のとおりです。(敬称略)

【小松島市長賞】

小松島中学校2年 北野 日菜

【審査員特別賞】

小松島中学校2年 畠山 染寿

坂野中学校3年 谷口 綾

立江中学校3年 大谷 ひかる

【入選】

小松島中学校2年 井内 菜々子

小松島中学校2年 谷 真実

小松島中学校2年 森 優衣

坂野中学校3年 奥村 香菜子

坂野中学校2年 鳴滝 利恵

立江中学校3年 宮内 優太朗

【佳作】

小松島中学校2年 北風 七星

小松島中学校2年 西原 美月

小松島中学校2年 西川 愛結

小松島中学校2年 亦川 綾香

坂野中学校3年 泉元 美里菜

坂野中学校2年 武市 有未

坂野中学校2年 中田 侑次郎

立江中学校2年 江崎 愛奈

立江中学校2年 田村 慶太

備品」「学校の建設費」「先生の給料」などということもわかりました。私は、この資料を見たときは本当に驚きました。現在、中学二年生の私でも、小学校六年間で約五百十七万八千円、中学校の二年間で百九十八万六千円、合計約七百十六万四千円の税金に助けられていくのです。教科書代が無料なのも、きれいな机やイスが人数分きちんと備わっているのも、大きく美しい学校が建設されていることも、あたりまえではなく、すべて税金のおかげだということをお金のおかげだということをお

納めずに生活するなんて、お

のだと感じました。

らたためて感じさせられました。

納めずに生活するなんて、お

のだと感じました。